

事業番号	09 06 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業農村の基盤整備事業			部局	農政部	課・室	農地整備課
				実施期間	S25 ～	E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

・県内の水田は大規模な区画が少なく、50a以上の区画への整備率は2%（全国38位）に留まっている。また、小規模農家が分散してほ場を所有している状況のため、生産効率が低い。特に傾斜地が多く、高齢化も進行している中山間地域ではこの傾向は顕著である。中山間地域では、大型の農作業機械の導入が困難なほ場も多く、過疎化・高齢化の進行により、効率的な農業生産が行えない地域がある。

・コメの需要低下に伴い、畑作への転換が求められているが、野菜や果樹などの高収益作物の作付に必要な畑地化（地表排水を促すために農地に勾配をつけたり、地下水排除を促すために暗渠排水を整備する）は進んでいない。

・農産物の安定生産に必要な用水を供給する農業水利施設の多くが耐用年数を超過する時期を迎えており、更新整備や長寿命化が急務となっている。

### 2 事業目的

・地域の担い手が効率的な農業を営むための、農地や農業用施設の条件整備を行う。

・地域の特性に応じた高収益作物の作付を実現させるための、農地や農業用施設の条件整備を行う。

・施設の機能診断に基づく長寿命化計画を踏まえ、計画的な農業水利施設の補修・更新を進めることで、安定的な用水の供給を可能とするとともに施設の損壊等による災害を未然に防止する。

### 3 事業目的を達成するための取組

**①生産効率を高める農地・農業用施設の整備**

・スマート農業技術の導入や担い手への農地の集積・集約化を可能とし、農業生産コストを削減するためのほ場の区画拡大や用排水路のパイプ化等の条件整備について、補正予算を活用して前倒しで着手し、効果の早期発現を図る

・中山間地域では、コスト削減のための整備に合わせて、集落道等の整備を行うことで、地域の活性化と災害時等の交通ネットワークの確保を図る

※その他事業は当初予算のとおり

**②収益性を高める農地・農業用施設の整備**


・野菜や果樹など高収益作物の生産のため、水田から畑地への転換や畑地かんがい施設の更新・整備等の条件整備を実施について、補正予算を活用して前倒しで着手し、効果の早期発現を図る

・ほ場の冠水被害による畑作物の品質低下防止のための排水対策、農作物輸送に伴う荷傷み防止のための耕作道整備について、補正予算を活用して前倒しで着手し、効果の早期発現を図る


**③用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新**

・農業用水の安定供給と維持管理労力の軽減を図るため、農業水利施設の長寿命化を計画的に実施特に、損壊により営農に与える影響が大きい重要構造物について、補正予算を活用して前倒しで着手し、効果の早期発現を図る


※その他事業は当初予算のとおり



【ほ場の区画拡大】



【水路兼用農道の整備】



【水路トンネルの補修・補強】

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	実績	実績	実績	実績			
①	農業生産コストを低減するためのほ場の区画拡大面積	ha	147	191	↗	226	↗	265	△	第9次土地改良長期計画（策定中）における2027年度（R9年度）までの目標に基づいて、R5年度の区画拡大面積を設定【累積値】	
②	収益性を向上させる畑地かんがい施設の整備（新設・更新）面積	ha	1,775	1,972	↗	2,269	↗	2,402	△	第9次土地改良長期計画（策定中）における2027年度（R9年度）までの目標に基づいて、R5年度の畑地かんがい施設の新設及び更新を行う農地面積を設定【累積値】	
③	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	箇所	29	37	↗	48	↗	45	△	第9次土地改良長期計画（策定中）における2027年度（R9年度）までの目標に基づいて、R5年度の重要な農業水利施設の整備箇所数を設定【累積値】	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★農業農村総生産額	億円	2018 (H30)	3,528	2019 (R1)	3,459	2020 (R2)	3,579	2027 (R9)	3,700
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	★再生可能エネルギー生産量	万TJ	2018 (H30)	2.8	2019 (R1)	2.8	2020 (R2)	2.9	2027 (R9)	3.7
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	該当なし									

### 6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	5,926,654	5,880,829	1,155,289	1,155,289	12,962,772	944,063		74.0
R4年度	6,786,625	6,527,698	1,511,611		14,825,934	994,508	8,881,006	77.4
R3年度	6,426,367	8,262,709	846,389		15,535,465	1,030,827	8,725,877	77.5

事業番号	09 06 03	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	<b>農業農村の基盤整備事業</b>		部局	農政部	課・室	農地整備課

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算	
1	<b>農業農村の基盤整備事業</b>		15,535,465 千円	14,825,934 千円	予算現額 <u>12,962,772</u> うち今回補正額 <u>1,155,289</u> 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	県営かんがい排水事業	直接	農業水利施設の更新・補修、管理の省力化 実施地区 13地区（うち補正2地区）			
2	県営畑地帯総合土地改良事業	直接	畑地かんがい施設の更新、畑地の区画整理 実施地区 11地区（うち補正3地区）			
3	経営体育成基盤整備事業	直接	水田の区画整理、用排水路・農道の整備 実施地区 9地区（うち補正6地区）			
4	県営農道整備事業	直接	農道橋の耐震化、安全施設の整備 実施地区 1地区			
5	県営中山間総合整備事業	直接	中山間地域における農業生産基盤と農村生活環境の整備 実施地区 10地区（うち補正2地区）			
6	団体営土地改良事業	補助金	農業水利施設や農道の改修、区画整理への支援 実施地区 61地区			
7	県単農業農村整備事業	補助金	土地改良区等が行う農業水利施設等の整備への支援 実施地区 43地区			
8	農村地域整備基礎調査事業	直接	農業農村整備事業の計画策定等に必要基礎資料の収集整理（整備実績等の調査） 調査対象 77市町村			
9	中山間地域土地改良施設保全管理適正化事業	直接	中山間地域の土地改良施設を保全管理する市町村・土地改良区を対象に会議・相談、打合せ、現地調査等による指導・支援の実施。 会議・相談等による指導・支援 30回			
10	次代を担う土地改良技術者育成事業	直接	市町村や土地改良区の新任担当者に対して、土地改良技術の基礎的研修を実施 研修会 2回			
11	信州棚田ネットワーク推進事業	直接	①全国棚田カードの作成 ②企業と棚田保全団体とのマッチング ①棚田カード作成 1棚田 ②棚田パートナーシップ協定締結 1企業等			
12	ふるさと信州棚田支援事業	補助金	棚田地域における土地改良施設や農地の保全整備等を行う地域住民活動への支援 支援団体 12団体			
13	地下かんがいシステム導入促進事業	直接	地下かんがいシステム「FOEAS」の中山間地域モデルほ場の設置及び実証展示会の開催 実証展示会 1回			